



TOHOKU
UNIVERSITY

SCHOOL of LAW 2027

学部案内

東北大学 法学部

世界を知る。
未来を考える。



小田滋

Oda Shigeru

学問と実務の両面で
国際法のあり方を示した
世界的法学者

世界で活躍した先人

1950年から1976年まで東北大学法学部で教鞭をとられた小田滋先生は、世界的に最も著名な国際法学者の一人であり、特に海洋法の分野における世界的権威として知られています。その著作は、今日でも世界中の研究者や学生にとって必読文献とされ、海洋法研究の礎となっています。小田先生は、学者としては国際法の諸問題の本質を鋭く捉える一方で、国際法が現実の国際社会でどのように用いられているかを重視し、自ら実務の最前線でも国際的に活躍されました。東北大学法学部在職中からすでに、国際司法裁判所において「北海大陸棚事件」の西ドイツ側弁護人を務めたほか、第1次から第3次にわたる国連海洋法会議で日本代表団の一員として条約交渉に携わるなど、国際法実務の現場でも重要な役割を担っていました。その後、1976年から2003年までの27年間にわたり国際司法裁判所裁判官を務め、多くの国際紛争の解決に尽力するとともに、今日でもしばしば参照される個別意見を数多く残しています。

第三期の法服記念写真



執務風景(1989年)



東北大学
大学院法学研究科長・法学部長

久保野 恵美子

Kubono Emiko

世を動かす
「法」と「政治」を学ぶことで、
不確実で予測できない
社会と向き合う

東北大学法学部は、その前身である東北帝国大学法文学部が設置された大正11年(1922年)以来の長い歴史の中で、産・官・学・法曹・文芸その他の広い分野に、多くの優れた人材を送り出してきました(ウェブサイト「100周年記念法学部企画I・各界で活躍する卒業生へのインタビュー」<https://www.law.tohoku.ac.jp/100th/>をぜひご覧ください)。

このような卒業生の活躍は、よりよき社会の実現への情熱をもって研究に打ち込み、その成果を教育に注ぎ込んできた法学・政治学の研究者である教員と、向学心に富み社会貢献の意欲に満ちた学生との相互作用による法学部での学びに支えられています。

法学部の授業、特に少人数での演習授業(ゼミ)では、意見や利害の対立する人々の共生のための知恵の結晶である法と政治への洞察を深め、論理的に思考し、未知の課題を分析して解決を導く力や、自分自身の考えを相手に説得的に伝える力を涵養することができます。これらの力は、公務員・法曹のみならず、世を動かすあらゆる分野での活躍の礎となります。

進路目標が定まっている学生向けには、法学部に国際コース、法曹コースがあり、さらに、進学先として、公務員等の公共政策を担う高度専門職、法曹、研究者の各進路に適した3つの大学院が設置されています。2024年には東北大学が国際卓越研究大学に認定されました。法学部では、この認定を活かし、戦略的な研究者人事等により、社会の基盤を支える法学・政治学の研究のより一層の強化、先端的応用的分野の拡充及び国際展開の促進を図っています。多様な関心や夢に応える学びの場を準備して、皆さんをお待ちしています。

東北大学法学部は、社会の変化やそれに伴う現代的課題に柔軟かつ粘り強く対応し、より良き社会の実現に貢献しうる人材の養成を使命としています。法や政治について、その力を信じる人も疑う人も、法学部で、正解のない社会的な課題の解決策を、私たちと共に、考え抜きましょう。

2026年4月

学生とともに理解を深め 新たな気付きを得られる授業を

「分からない」と感じた民法を研究

私の専門は民法ですが、実は学生時代に一番「分からない」と感じた分野です。分からないからこそ、講義を受け、文献を読み、友人と議論を重ねて先生方に質問して文章をまとめていました。すると、次第に知識の体系的なつながりや、介入する指針をつかめるような感触を得ました。そのときの喜びややりがい、研究者の道につながっています。

1000以上の条文が体系的につながる

民法は1000以上の条文があり、さらにその中にもさまざまなルールがあります。しかし、自分の経験とつなげると見通しが良くなることもあり、身近に感じられると思います。また、条文によっては常識と異なるように感じるものもありますが、実はそこには

きちんとした理由が隠れていることがあります。自分の予想を超えたことが見えてきて、そしてそれが体系的に一つのルールとしてまとまっているところに面白さがあると感じています。

私は、民法の中でも特に「表見代理」について研究しています。一見すると細かいルールですが、民法の中にあるさまざまな分野のルールをつなげていくと、実は体系的に整理されていることに気がきます。この奥深さが、研究の魅力だと感じています。

社会に羽ばたくきっかけをつかんでほしい

授業では「学生から教わる」ことを意識しています。学生が法の解釈として正確ではないことを述べたとしても、なぜそう考えたのかを一緒に掘り下げ、その思考をたどることで、ともに理解を深め、新たな気付きを得ることができます。

本学の学生はまじめで研究熱心であり、私が担当する演習でも毎回熱心に質問してくれるなど、謙虚かつ物怖じせず、前向きに勉強に向き合う姿を頼もしく感じています。

法学部は法曹、公務員、民間企業など幅広い進路があります。社会に羽ばたくきっかけをつかんでほしいと思います。



市川 英孝 准教授

いちかわ ひでたか

専門分野 / 民法

教員から Message

学んだ知識が現場の課題解決につながる

東北大学法学部を卒業後、東北大学公共政策大学院で学びました。公共政策について実地で学ぶカリキュラムを通じ、現場の課題とこれまで学んだ法理論が地続きであることを肌で感じ、目が覚めるような面白さを感じました。そのため、授業の中では「学んでいることは机上の空論ではない」ということをできる限り伝えるようにしています。

根本的な部分を問い直し、難問に向き合う

行政法の中でも特に行政訴訟を中心に、権力分立の一角である司法と行政のどちらの判断をどれだけ優先させるのか、判決のあとに行政はどのように行動するべきなのかなどの研究をしてきました。フランス法を対象とした比較法研究も行っていますが、文化も歴史も違うため、実際に日本の法解釈や立法論に生かすには、慎重さも必要であると感じています。

法学や政治学の研究では、本質的な部分を問い直す作業があり、そこには解けない難問が横たわっていることがあります。私たちの足元には実は多くの理論的問題があると

気付いたとき、法学部での学びの難しさと面白さを感じられると思います。

法学のもつ奥深さ、面白さとは

法は、私たち人間の営みの全てに関わっているものであり、それは先人が試行錯誤のうえ生み出し、積み重ねてきたものです。不変的なものではなく、これから変わっていく可能性もありますし、過去を見れば全く違うものだったかもしれません。AIやデジタル技術といったアクチュアルな問題も、幅広くカバーできる点も法学の面白さだと思います。

法学は無味乾燥なものだと思われがちですが、実は切実な事情を抱えた個人を救い上げるためのものでもあります。想像力とバランス感覚を養う学びが、法学部にはあると思います。

机上の空論ではなく 現場につながる学びを



高畑 柊子 准教授

たかはた しゅうこ

専門分野 / 行政法





東北大学法学部の教員が取り組んでいる研究

<p>教授 蘆立 順美 ASHIDATE Masami 専門分野: 知的財産法</p>	<p>教授 岡部 恭宜 OKABE Yasunobu 専門分野: 比較政治学, アジア政治経済論, 国際ホランティア論</p>	<p>准教授 篠本 創 SHINOMOTO Sou 専門分野: 国際関係論</p>	<p>准教授 藤原 健太郎 FUJIWARA Kentaro 専門分野: 租税法</p>
<p>教授 阿南 友亮 ANAMI Yusuke 専門分野: 中国近代政治史, 現代中国政治</p>	<p>准教授 岡本 弘道 OKAMOTO Hiromichi 専門分野: 民事訴訟法</p>	<p>准教授 高畑 柊子 TAKAHATA Shuko 専門分野: 行政法</p>	<p>准教授 堀澤 明生 HORISAWA Akio 専門分野: 行政法</p>
<p>准教授 池田 悠太 IKEDA Yuta 専門分野: 民法</p>	<p>教授 奥村 公輔 OKUMURA Kosuke 専門分野: 憲法</p>	<p>教授 嵩 さやか DAKE Sayaka 専門分野: 社会保障法</p>	<p>准教授 松本 圭史 MATSUMOTO Yoshifumi 専門分野: 刑法</p>
<p>准教授 石川 真衣 ISHIKAWA Mai 専門分野: 商法</p>	<p>教授 鹿子生 浩輝 KAKOO Hiroki 専門分野: 政治思想史</p>	<p>准教授 玉井 裕貴 TAMAI Hiroki 専門分野: 民事訴訟法</p>	<p>教授 森田 果 MORITA Hatsuru 専門分野: 商法, 法の経済分析, 実証分析</p>
<p>准教授 市川 英孝 ICHIKAWA Hidetaka 専門分野: 民法</p>	<p>准教授 金子 智樹 KANEKO Tomoki 専門分野: 現代政治分析</p>	<p>教授 戸澤 英典 TOZAWA Hidenori 専門分野: 国際政治学</p>	<p>准教授 諸岡 慧人 MOROOKA Akito 専門分野: 行政法</p>
<p>教授 井上 和治 INOUE Kazuharu 専門分野: 刑事訴訟法, 英米刑事訴訟法史</p>	<p>教授 樺島 博志 KABASHIMA Hiroshi 専門分野: 法理学</p>	<p>教授 中林 暁生 NAKABAYASHI Akio 専門分野: 憲法</p>	<p>教授 横田 正顕 YOKOTA Masaaki 専門分野: 比較政治</p>
<p>教授 井上 泰人 INOUE Yasuhito 専門分野: 国際私法</p>	<p>教授 榎橋 明香 KUSHIHASHI Sayaka 専門分野: 民法</p>	<p>教授 成瀬 幸典 NARUSE Yukinori 専門分野: 刑法</p>	<p>教授 吉永 一行 YOSHINAGA Kazuyuki 専門分野: 民法</p>
<p>教授 今津 綾子 IMAZU Ayako 専門分野: 民事訴訟法</p>	<p>教授 久保野 恵美子 KUBONO Emiko 専門分野: 民法</p>	<p>教授 西岡 晋 NISHIOKA Susumu 専門分野: 行政学</p>	<p>准教授 頼 奕成 LAI Ekisei 専門分野: 商法</p>
<p>教授 岩田 太 IWATA Futoshi 専門分野: 英米法</p>	<p>教授 黒崎 将広 KUROSAKI Masahiro 専門分野: 国際法</p>	<p>教授 西土 彰一郎 NISHIDO Shoichiro 専門分野: 憲法</p>	<p>教授 ROOTS Maia ROOTS Maia 専門分野: 比較家族法</p>
<p>教授 大江 裕幸 OE Hiroyuki 専門分野: 行政法</p>	<p>教授 桑村 裕美子 KUWAMURA Yumiko 専門分野: 労働法</p>	<p>教授 平田 武 HIRATA Takeshi 専門分野: 西洋政治史</p>	<p>准教授 脇田 将典 WAKITA Masanori 専門分野: 商法</p>
<p>准教授 大谷 祐毅 OTANI Yuki 専門分野: 刑事訴訟法</p>	<p>教授 伊永 大輔 KORENAGA Daisuke 専門分野: 経済法・競争政策</p>	<p>教授 伏見 岳人 FUSHIMI Taketo 専門分野: 日本政治外交史</p>	<p>※2026年5月1日現在</p>

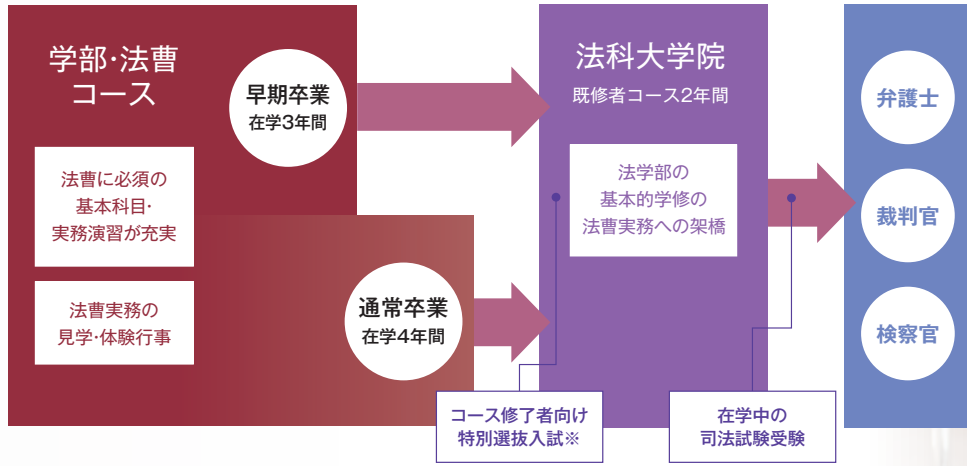
法曹 コース

弁護士等の夢へ一直線

法学部・法科大学院一貫の法曹養成教育



詳しくは法学部
Webサイトも参
照してください



法学部入学から最短5年で司法修習・法曹実務へ

※連携法科大学院(東北大学法科大学院)の5年一貫型特別選抜入試では、所定の成績要件等を満たして法曹コースを修了した場合、法律科目の筆記試験が免除されます。法曹コース修了者は、この他、連携・非連携法科大学院が実施する開放型特別選抜入試を受験することもできます。



法曹コースについては
文部科学省Webサイトも
参照してください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houka/houka.htm

コース紹介

国際 コース

法学部から世界へ!

国際コースとは・・・

国際的な視野を備えた法政ジェネラリストを目指す法学部学生に対して、海外留学を必須とした多様な教育プログラムを提供するコースです。国際コースは、学部・修士課程を通じた教育プログラムである「国際プログラム」の中に位置づけられています。希望者は、学部の早期卒業制度と修士課程の早期修了制度を活用することにより、学部・修士課程を5年で修了することができます。

最近の留学例

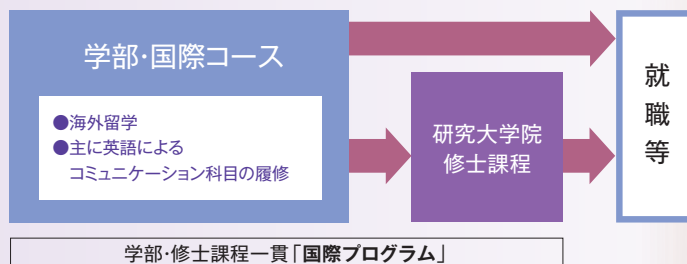
カリフォルニア大学バークレー校、ハワイ大学マノワ校(以上米国)、ゲッティンゲン大学、パダボン大学(以上ドイツ)、トゥルク大学(フィンランド)、リヨン政治学院(フランス)、グラナダ大学(スペイン)、オーストラリア国立大学(オーストラリア)、ウプサラ大学(スウェーデン)、ウィーン大学(オーストリア)、マラヤ大学(マレーシア)、国民大学校(韓国)など

国際コース修了後の進路

国際コースを修了して学部を卒業した後は、

- 研究大学院の修士課程への進学(国際プログラム)
- その他の大学院(法科大学院、公共政策大学院、海外の大学院等)への進学
- 就職(国際的な企業、国際機関、外務省、経済産業省、JICA、JETRO等)

などの進路が想定されています。



学部・修士課程一貫「国際プログラム」



詳しくは法学部
Webサイトも参
照してください

望ましい社会の在り方を 法を通して考えたい

高校生の時に、大学の先生によるオンライン講義「法学入門」を受講しました。そこで、法学は社会の望ましい仕組みを考えられる学問であると感じ、また、法律は社会の仕組みをどんな言葉で表現しているのかにも興味を湧き、法学部への進学を考えました。

橋本 咲幸

はしもと さゆき

出身 千葉県千葉市
趣味 吹奏楽、ホルン演奏

東北大学に進学したのは、パンフレットで見た自然の美しさに惹かれたからです。全国から学生が集まる東北大学では一人暮らしをする人も多いと説明会で知り、自分も頑張れるのではないかと思います。

履修科目を柔軟に選び 自分の興味・関心につなげる

法学部では柔軟に履修を組めるため、私も幅広い科目を履修する中でやはり法学に興味があると再確認できました。一方、政治学に特に興味を持って学ぶ友人もいます。さまざまな興味関心を持つ人が周りには、とても刺激になります。

少人数で学べる演習は、先生方や他の学生との距離が近いのが魅力だと感じてい

ます。議論することで自分が見えていなかったところを見つけることもできましたし、先生方のアドバイスや他の学生の意見を聴き、より学びを深めることができたと感じています。

学びの中で見つけた 検察官という夢に向かって

東北大学では、仙台高等検察庁で実施している体験プログラムに参加することができます。私も体験プログラムに参加し、真相を解明するために能動的かつ主体的に捜査できる検察官に魅力を感じ、志すようになりました。今後は法科大学院に進学し、一人ひとりに向き合える法曹になることが目標です。

一人ひとりに向き合う 法曹を目指して

現役学生から

Message

国家間のために 自分にできることを探したい

小学生のときに約2年半、中国で暮らしました。国際学校ではさまざまな国の友人ができましたが、国同士の軋轢を感じることもありました。この経験から、大学では国家間の紛争や文化の違いを乗り越えて自分にできることを探したいと、JICAや国連職員への憧れもあり法学部を志望しました。

授業や自主ゼミで 国際法について学ぶ

大学では興味のある国際法を中心に履修し、「倶楽部国際法」という自主ゼミに所属しています。「倶楽部国際法」では、複数

の国際法模擬裁判大会に出場するため、架空の法的紛争が書かれた問題文を読み込み、書面の作成や、弁論準備を行います。授業で学んだことをもとに、条約について調べながら協力して答えを考え抜く作業は達成感がありますし、知らなかった分野を調べる機会になり、自分自身の視野も広がると感じています。

留学経験を通して 今後の進路を考えたい

3年生の9月には、入学前海外研修でも訪れたアメリカ・カリフォルニア大学への留学が決まっています。入学前海外研修ではアントレプレナーシップについて学びましたが、今度は国際関係や政治学を学びたい

と考えています。これまで学んできた知識を、実務としてどう落とし込んでいけるのか、留学先で学びたいと考えています。

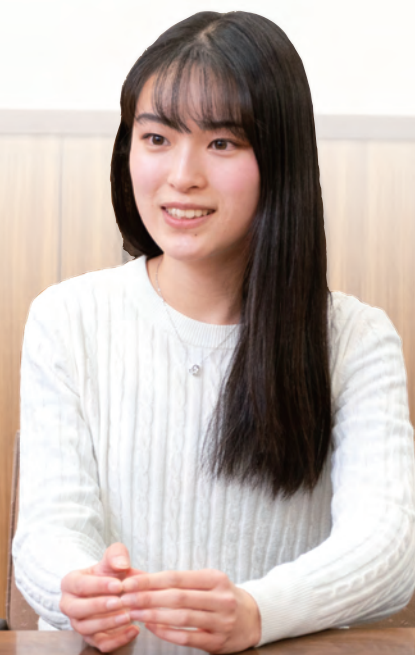
将来は国際協力に携わるのが目標です。今の国際情勢にどうすればより貢献できるのか、留学での経験も踏まえながらこれから考えていきたいと思っています。

法学部での学びを通して 国際協力の夢を模索

伊藤 李生

いとうりお

出身 宮城県仙台市
趣味 ミュージカル鑑賞





自主ゼミ

大学生活では、サークルやクラブに参加する学生も多いです。ここでは、東北大学法学部独自のサークルである「自主ゼミ」のいくつかと、それらに所属する学生の1週間を紹介します。

模擬裁判実行委員会

私たち模擬裁判実行委員会は毎年秋に裁判劇の公演を行い、観ていただいた市民の皆様に法と社会の関わりについて考えていただくという活動を行っている団体です。また、今年の公演で第75回目という長い歴史を持つ団体でもあります。キャストはもちろん脚本の執筆や演技指導、宣伝などのあらゆる活動のすべてを学生自身で行っており、普段の生活ではなかなか感じることでできない充実感や達成感を味わうことができます。また、公演に向けての活動のほか、ご飯会や芋煮会、他大学との交流会など楽しいイベントを通して、学年を超えて絆を深めることができます。

公演の内容については、毎年異なる法律問題を一つ取り上げ、それをテーマとして物語を展開させています。実際に裁判が行われる法廷シーンのほか、主人公の日常を描いたシーンなどを盛り込むことで観客の皆さんに分かりやすく、そして身近な問題として考えていただけるように努力しています。

2026年の公演は、12月26日(土)、12月27日(日)に東北大学百周年記念館川内萩ホールにて行う予定です。この公演を観て模擬裁判実行委員会に憧れて入ってくる新入生もいますので、今年も高校生の皆様の刺激になるものをお届けできるかと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

	月 起床 9:00	火 起床 7:30
1 講時		契約法・ 債権総論
2 講時	行政法Ⅰ	会社法Ⅰ
3 講時	展開中国語Ⅰ	刑法Ⅱ
4 講時	行政法Ⅰ	憲法Ⅱ
5 講時	自主ゼミ	
	就寝 24:00	就寝 24:00

東北大学無料法律相談所

東北大学無料法律相談所は、法律問題を抱える市民の皆様からのご相談をお受けし、本学法学部の学生である所員が、お客様が抱える疑問やその後の対応などについて回答・アドバイスするという活動を行っている団体です。本学で教鞭を執られた中川善之助先生によって昭和3(1928)年に創設されて以来、学生を中心に運営され、現在は法学部の自主ゼミの一つとして活動しています。

相談活動は、電話やメールなどでお客様からの法律相談をお受けした後、本学の先生方や弁護士の方のご協力のもと所員が検討を重ね、来所されたお客様に対して回答させていただくという流れをとっています。主要な活動であるお客様への回答は3・4年生が担当しますが、回答を担当しない所員にも、事前の聞き取りや回答の場への同席といった形で回答活動に関わる機会が設けられています。相談内容は契約や相続といった民事事件一般の他、労働問題や行政関係の問題など多岐にわたり、法学部の講義で学ぶ種々の法規が、現実の問題に対してどのように適用されるかを知ることができます。また、活動には責任が伴う反面、講義とは違ったアプローチで知識や経験を得ることのできる有意義な活動であるともいえます。

通常の回答活動は講義期間中の土曜日に実施しており、夏期休業期間には東北地方の市町村を訪問する出張相談活動も行っています。また、芋煮会などのイベントも通年で開催しています。私たちの活動に興味を持たれた皆様の入所をお待ちしています。

	月 起床 8:30	火 起床 7:30
1 講時		契約法・ 債権総論
2 講時	行政法Ⅰ	自主ゼミ
3 講時	民事訴訟法	刑法Ⅱ
4 講時	行政法Ⅰ	憲法Ⅱ
5 講時		
		バイト(18:00)
	就寝 25:00	就寝 25:00

倶楽部国際法

私たちの主な活動は年2回(夏・冬)の国際法模擬裁判大会への出場です。

問題発表後、メモリアルとよばれる回答書面を作成し、東京及び京都で行われる模擬法廷に向けて弁論練習を行います。

大会当日は、東大や早稲田大といった他の大学と弁論で戦います。

各自がリサーチを行い、みんなで協力して1つのメモリアルを作る達成感はひとしおですし、法的な思考力や弁論力も身につきます。

また、昨年度は夏大会で弁論者賞の1位2位を独占し、外務大臣賞も獲得したり、英語弁論である冬大会でメモリアル3位、個人賞原告3位を獲得したりと各種大会で結果も残っています!

春には花見、夏にはBBQ、秋には芋煮、冬には京都観光やスキー旅行などイベントも多く予定されており、メンバー同士の仲も良いです。

卒業後の進路もさまざまで、在学中に海外留学に行く人も多いです。

国際法に少しでも興味のある方や好奇心旺盛な方はぜひ見学にいらしてください!

	月 起床 7:30	火 起床 7:30
1 講時		契約法・ 債権総論
2 講時		フランス文学 概論
3 講時		刑法Ⅱ
4 講時		憲法Ⅱ
5 講時	ゼミ活動	国際法演習
	他サークル活動 (18:00~20:00)	
	就寝 24:00	就寝 24:00

所属学生の1週間

水	木	金	土	日
起床 9:00	起床 7:30	起床 9:00	起床 9:00	起床 10:00
	英語Ⅲ			
	会社法Ⅰ			
	契約法・ 債権総論	現代政治分析		
	比較法社会論	現代政治分析		
自主ゼミ		自主ゼミ		
就寝 24:00	就寝 24:00	就寝 24:00	就寝 24:00	就寝 24:00



所属学生の1週間

水	木	金	土	日
起床 8:30	起床 7:30	起床 8:30	起床 8:30	起床 8:30
	英語Ⅲ			
趣味・勉強	展開ドイツ語	民事訴訟法		
	契約法・ 債権総論	現代政治分析		
会計学入門	地域財務 金融行政論	現代政治分析		
			バイト (13:00~ 21:30)	バイト (13:00~ 21:30)
~21:30	バイト(18:00~21:30)			
就寝 25:00	就寝 25:00	就寝 25:00	就寝 25:00	就寝 25:00



所属学生の1週間

水	木	金	土	日
起床 7:30	起床 7:30	起床 7:30	起床 7:30	起床 7:30
実験心理学 概論	展開フランス語Ⅰ	中国政治演習Ⅰ		
フランス語勉強	契約法・ 債権総論	現代政治分析		
	西洋政治史 基礎演習	現代政治分析		
実践フランス語	西洋政治史 基礎演習			
他サークル活動 (18:00~20:00)		バイト(18:00~ 22:30)	バイト	バイト
就寝 24:00	就寝 24:00	就寝 24:00	就寝 26:00	就寝 26:00





東北大学法学部の「教育理念」及び「教育目標」

東北大学法学部では、法学・政治学に関する正確な基礎知識を身につけ、鋭い正義感覚と幅広い視野から社会に伏在する諸問題を発見・分析し、その解決に努めることをもって、良き社会の実現に貢献する人材、すなわち「法政ジェネラリスト」の養成を行うことを教育目的としています。

ディプロマ・ポリシー

東北大学法学部では、次に掲げる教育目的に従い、全学教育科目の単位を39単位以上及び専門教育科目の単位を90単位以上(うち私法・公法科目2単位以上、基礎法科目2単位以上及び政治学科目2単位以上)を修得した学生について、学士の学位を授与する。

1

教養ある国際市民としての素養を備え、法学・政治学の正確な基礎知識を修得し、鋭い正義感と幅広い視野に基づき、社会に生起する問題を発見かつ分析し、利害の衝突を未然に防止し、あるいは紛争を解決することにより良き社会の実現に貢献する人材(法政ジェネラリスト)を養成する。

2

法学・政治学における学術研究または高度専門職(法政スペシャリスト)となるために共通の前提となる基礎知識・素養と幅広い見識を有する人材を涵養する。

3

グローバル社会において、指導的・中核的役割を果たす自覚と展望を持ち、その基となる国際的視野とコミュニケーション能力を有する人材を輩出する。



カリキュラム・ポリシー

東北大学法学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げた教育目的の実現を目指して、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施する。

1

学部開講の授業科目を内容に即して「基礎講義」・「基幹講義」・「展開講義」の категорияに分け、段階的に配置することによって法学・政治学の基礎的な内容を無理なく体系的に修得させる。

2

段階的に配置された講義科目と併行して、1年次から4年次までの学部4年間全般にわたって、「基礎」・「基幹」・「展開」の各講義をフォローアップするため、少人数で開かれる「演習」を多数開講する。

3

成績評価は、講義の場合は定期試験を中心に小テスト・受講態度・課題への取り組み等を総合して評価し、演習の場合は出席、発言の回数や質、課題への取り組み等を総合して評価する方法を原則とする。

1

「基礎講義」とは、1・2年次生を対象に、法や政治の歴史的・思想的・社会的背景を学ぶことを目的とするもので、全学教育と連携しながら幅広い教養と視野を備えた人間の養成を図るものである。

2

「基幹科目」とは、1年次後半から2・3年次にかけて、「基礎講義」の履修を前提として、法学・政治学の根幹をなす主要科目の修得を図るものである。

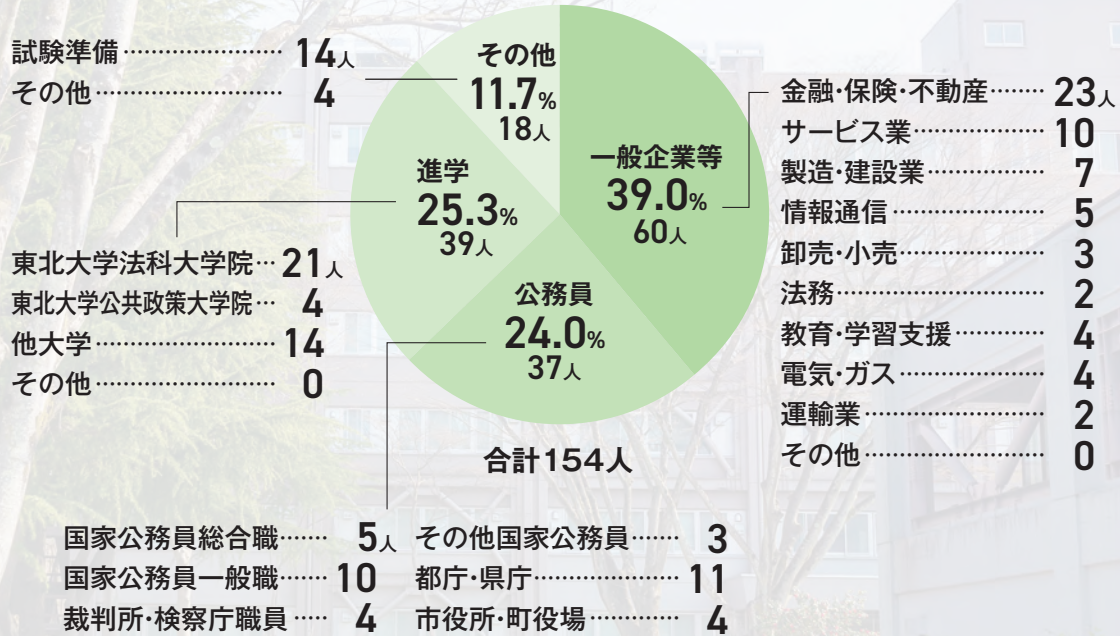
3

「展開講義」とは、3・4年次において、法学・政治学について、より深い理解とさらに豊かな見識との修得を図るものである。

卒業生の進路

2025年度

進路先状況



卒業生の進路

Career

過去5年間の主な就職先 (2021年度～2025年度 卒業生)

【一般企業】 トヨタ自動車株式会社、株式会社博報堂、ソニーグループ株式会社、丸紅株式会社、日本製鉄、JR東日本、日本航空株式会社、NTT東日本、楽天グループ株式会社、読売新聞、日本経済新聞社、一般社団法人共同通信社、東北電力株式会社、日本銀行、日本政策金融公庫、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、七十七銀行、野村證券株式会社、三井物産株式会社、住宅金融支援機構など

【公務員】 衆議院事務局、参議院事務局、総務省、法務省、外務省、文部科学省、農林水産省、防衛省、金融庁、特許庁、仙台国税局、東北管区警察局、公正取引委員会、宮城県庁、東京都庁、仙台市役所、つくば市役所、仙台高等裁判所、名古屋高等裁判所、仙台地方裁判所、東京家庭裁判所、仙台地方検察庁など

法学部で学んだ幅広い知見で 日本の平和と安全を守る



栗田 知明

くりた ともあき

防衛省 総合職事務系

【経歴】

- 2022年3月 東北大学法学部卒業
- 2022年4月 防衛省入省 防衛政策局防衛政策課
- 2023年4月 地方協力局沖縄協力課
- 2024年7月 陸上総隊司令部運用部
- 2025年4月 整備計画局防衛計画課

法学と政治学を 柔軟に学べるのが魅力

高校生の頃から関心があった日本の安全保障について考えることができる大学に進学したいと考えていました。東北大学法学部は、「法政ジェネラリスト」の養成を目指した柔軟なカリキュラムの下で、政治学だけでなく、国内法や国

同士の関係を規律する国際法についても幅広く学べるのが魅力でした。教授陣の方々も、各分野を先導する研究者の先生に加え、中央省庁での勤務経験のある実務家教員の方もいらっしゃり、実務と学術の双方を高いレベルで学べる点も志望する大きな理由になりました。

知識だけではなく 実務への生かし方も学ぶ

特に印象に残っている授業は中国政治演習です。安全保障を考える上で重要な中国について、政治学の抽象的な理論にとどまらず、地に足をつけた、中国の内側からの視点を学ぶことができました。さらに、演習担当教員の阿南先生は実務にも明るく、就職活動でのご助言をいただくだけでなく、就職後に実務と専門知をどう架橋していくかも導いていただきました。大学生活の半分以上の期間にわたってご指導いただきましたが、人生の指針となる学びをいただいたと感謝しております。

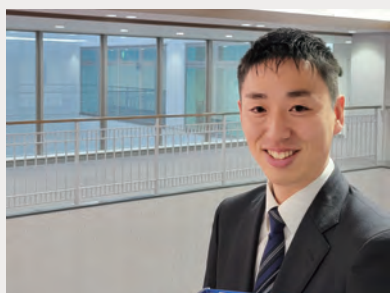
また、所属していた自主ゼミでは、仮想シナリオ上の国家の代表として模擬国際裁判を行いました。英語文献を読み込んだ上で、実務に直結する形で国

際法に関して英語で弁論することができ、とても印象に残っています。

培った知識で先見性を磨き 日本を守り抜く

現在は防衛省の総合職事務系として、日本の平和や安定を守り抜くための防衛力の整備やその運用に携わっています。防衛力の整備には長い時間がかかることから、計画段階での先見性が欠かせません。また、自衛隊の運用は一瞬のうちに日本としての決断を下す必要がある営みでもあります。国内・国際法の知見を前提に、各国の内政や国際政治への深い理解がなければこうした先見性や瞬発力を発揮することはできないため、東北大学法学部での学びが今の私を形作っていることを、日々実感しています。

このように、私は安全保障に携わっていますが、他分野の公務や法曹など、「公」に携わる者であれば「法政ジェネラリスト」に向けての道のりで涵養した、バランスのとれた法学・政治学の知見が、その人生の礎となると確信しています。「公」に関心がある皆さん、東北大学法学部の門をたたいてみませんか。



※職務に関する内容は個人の見解であり、また読者の皆様に分かりやすくするための表現も用いて記述しており、防衛省・自衛隊の見解を示すものではありません

多くの人と関わりながら

仕事を通して社会に貢献したい



オープンキャンパスで 魅力を感じる

法曹の世界に興味があったことと、論理的思考力を学べると思い、法学部を目指しました。東北大学を選んだのは、東京の大学も含めてオープンキャンパスに参加した中でも、自然豊かな環境や仙台の街の雰囲気に魅力を感じたからです。入学した後も、とても住みやすく、たくさんの仲間もでき、楽しい学生生活を送ることができました。

自主ゼミでの活動を通して 社会に役立つ力を身に付ける

大学では、国際法模擬裁判の大会出場を主な活動とする自主ゼミ「倶楽部国際法」に打ち込みました。大会では、架空の国家間の紛争を題材に、原告側と被告側に分かれて弁論を行うため、大会に向けた主張文の作成や、弁論の練習などに取り組みました。国際法の興味深いところは、多様な解釈ができることです。国内法では、過去の判例で解釈が決められると、それを覆すのは非常に困難です。しかし、国際法は解釈の幅が広いので、時間をかけて調べるほど論が補強され、自信につながるこ

とが魅力でした。国際法はエビデンスが重要であり、膨大な量の英語論文や判例を読み込んだため、リサーチ力や主張をエビデンスに紐づける習慣が付いたと感じています。

また、大学1年生では東北大学ユニバーシティ・ハウスに入寮しました。留学生の方とともに生活するため、日常的に英語でコミュニケーションを取れたことは、今の仕事にとっても役立っています。

大きな価値を提供できる 自動車業界へ

自分の可能性を模索するために司法書士の事務所や民間企業でアルバイトをしました。法曹の仕事もとても魅力的でしたが、民間企業でより多くの人と関わりながら事業を通じて社会に価値を提供したいと考えるようになりました。合同企業説明会でトヨタのブースに参加した際に、ある国に一つの工場を建てることで雇用を生み、インフラも整備されて街ができることを知り、自動車業界が社会に与えられるインパクトの大きさに魅力を感じました。

現在は、渉外部に所属し、弊社の想いに共感し、応援してくださる仲間を増

関戸 かおり

せきど かおり

トヨタ自動車株式会社
渉外部 地域グループ

【経歴】

2013年 3月 東北大学法学部卒業
2013年 4月 トヨタ自動車株式会社 入社
2013年11月 サービスパーツ物流部
2018年 1月 オリンピック・パラリンピック部
2022年 4月 ウーブン・アルファ株式会社(現・ウーブン・バイトヨタ株式会社)
(出向)
2023年 1月 渉外部

やす渉外活動に取り組んでいます。私はアメリカやカナダ、メキシコを担当し、政府関係者の方とやり取りすることも多くありますが「トヨタの車に乗っているよ」など、弊社の製品がお客様の生活を支えていると垣間見える瞬間にやりがいを感じますし、弊社にシンパシーを感じていただける方が国内外に増えていくと実感できる瞬間もモチベーションにつながっています。

弊社も女性社員が増えてきました。今後は、後輩たちのロールモデルとなるような働き方を示していくことが目標です。

Message

OB・OGから



入試情報

東北大学法学部では、主に「一般選抜入学試験(前期日程)」「AO入試(総合型選抜)Ⅱ期」「AO入試(総合型選抜)Ⅲ期」という3つの入学者選抜方法を設けています。

法学部は、良き社会の構築に寄与する知的人材の育成を理念としています。そのため、入試では、現代社会の直面する諸問題に関心を持ち、大学で養った法学的・政治学的知識と思考力を活かして、社会に貢献する意欲のある人を求めています。

AO入試では、特に、国内の地域社会からグローバル社会にわたる法的・政治的諸問題への関心を強く持ち、論理的思考力と英語能力を有する人(AO入試Ⅱ期)、現代社会に生じる法的・政治的諸問題についての幅広い関心と、法律・行政に関する実務や研究に将来携わろうとする強い意欲を持つ人(AO入試Ⅲ期)を求めています。そのため、AO入試では、書類審査の評価と面接試験が実施されます。

【募集人員】

	152名
一般選抜入試(前期日程)	112名
AO入試Ⅱ期	24名
AO入試Ⅲ期	16名



入試情報については
法学部Webサイトも
ご覧ください

【入試制度の概要】

	第1次選考	第2次選考
一般選抜入試* ¹ (前期日程)	大学入学共通テスト (国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報)	個別学力試験 (国語、数学、外国語)
AO入試Ⅱ期 * ² * ³	筆記試験 (英文読解力、論理的思考力)	面接試験
AO入試Ⅲ期 * ²	大学入学共通テスト (国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報)	面接試験

*¹ 一般選抜では、「主体性評価チェックリスト」を最終段階選抜で活用します。

*² AO入試では、東北大学法学部での勉学を強く志望し、合格した場合には必ず入学することを確約できることが出願要件です。

*³ AO入試Ⅱ期では、現役高校生であること、かつ、調査書の学習成績概評がA段階であることも出願要件となります。

【配点】

	第1次選考	第2次選考
一般選抜入試 (前期日程)	* ¹	大学入学共通テスト 950、個別学力試験 1950 計 2,900
AO入試Ⅱ期	筆記試験 900 (英文読解力、論理的思考力)	筆記試験 900、面接試験 400 計 1,300
AO入試Ⅲ期	大学入学共通テスト 950 (国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報)	大学入学共通テスト 950、面接試験 400 計 1,350

*¹ 志願者数が募集人員を大幅に上回り、個別学力試験を適切に実施できない場合に、大学入学共通テストの成績(素点)により、選抜を実施します。

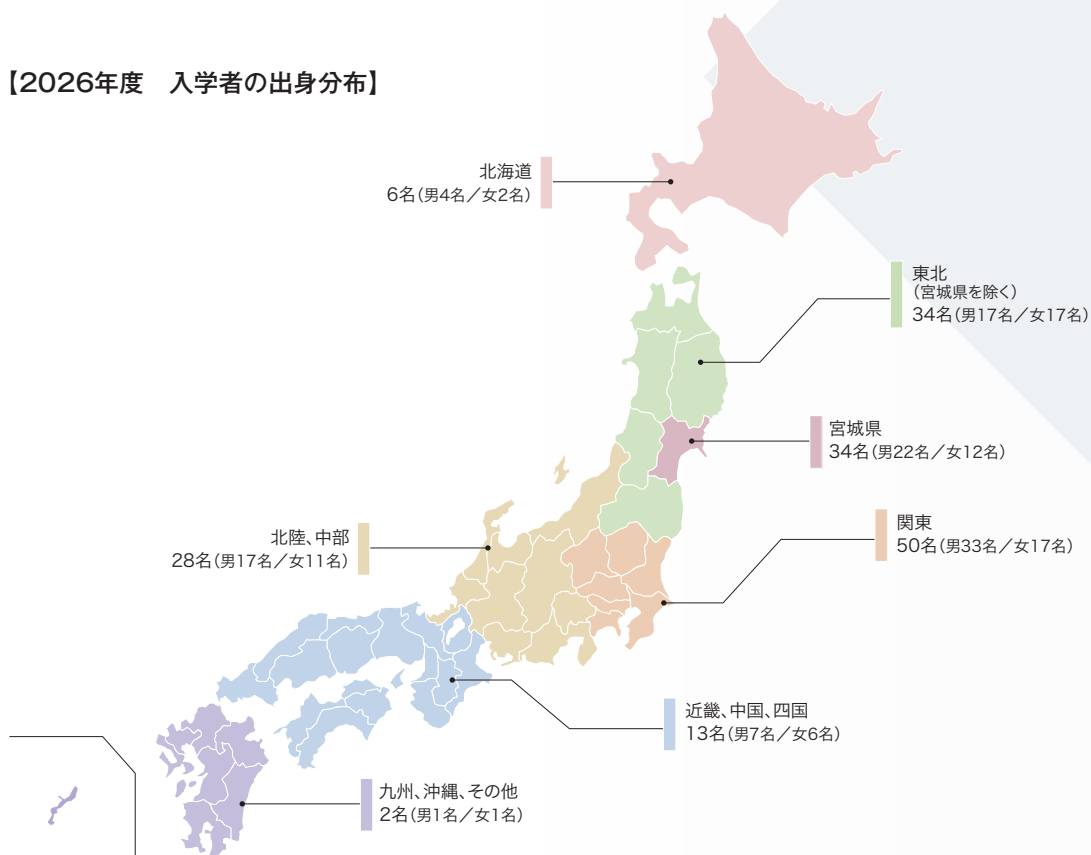
【2027年度 入試日程】

	大学入学共通テスト	筆記試験	面接試験
一般選抜入試 (前期日程)	2027年1月	2027年2月25・26日	—
AO入試Ⅱ期	—	2026年11月7日	2026年11月28日
AO入試Ⅲ期	2027年1月	—	2027年2月上旬

【2026年度 入試実施結果】

	定員	志願者数	第1次選考 合格者数	第2次選考 合格者数	入学者数
一般選抜入試 (前期日程)	112	282	— (実施なし)	123	119
AO入試Ⅱ期	24	85	38	24	24
AO入試Ⅲ期	24	53	38	24	24

【2026年度 入学者の出身分布】



【その他】

※最新の情報は、必ず、東北大学アドミッション機構のウェブサイトをご確認ください。
 ※2027年度の入試には今後変更が生じる場合がありますこと、ご了承ください。

もっと知りたい!

東北大学法学部 ウェブサイトガイド



法学部 HP

Q クラブやサークルについて知りたい

- ▶
- ▶

大学全体の部活・サークルに加えて法学部では、「自主ゼミ」と呼ばれる独自のサークルが活発に活動しています。



学友会・サークル



法学部自主ゼミ

Q 東北大学法学部にはどのように行ったらよいですか

- ▶

Cエリア内のC12の建物が法学部棟です。授業はC18中講義棟やC19文科系総合講義棟などでも行われます。最寄駅は仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」または「川内駅」です。



キャンパスマップ(川内)

Q 大学でどのような授業が行われていますか

- ▶

「シラバス(講義要項)」は、大学で開講されている授業の目的や進め方、教科書などの教材に関する指示を記した計画書です。全学共通科目と法学部専門科目に分けて、それぞれシラバスが公開されています。



シラバス

Q どんな先生がいますか?

- ▶

法学・政治学の様々な領域を専門とする研究者教員・実務家教員が、学生に対する教育や学術的研究のほか、専門知識を生かした社会貢献活動に取り組んでいます。



教員紹介

Q 図書館について知りたい

- ▶
- ▶

法学部の学生が主に使うのは、図書(本)と一般雑誌の蔵書が豊富な附属図書館本館と、法学・政治学の専門雑誌を集めた法学部図書室です。



附属図書館本館



法学部図書室

Q 困ったときにはどんなサポートを受けられますか

- ▶

法学部ウェブサイト上に、大学全体・法学部の学生支援に関する情報へのポータルサイトを作成しています。



学生支援ポータル

オープンキャンパス(対面&オンライン)の情報はアドミッション機構ウェブサイト



お問い合わせは

東北大学法学部・法学研究科

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

TEL.022-795-6175(教務係)

ホームページ:<https://www.law.tohoku.ac.jp/>

発行日:2026年6月